西播医療安全ニュース

2014年12月（第　12号）発行

Ⅰ　第2回　リスクマネジャー交流会開催報告

医療安全は、施設内で完結するものではなく、地域全体の医療安全管理者およびリスクマネジャー間との相互で情報共有を行い、施設内において実践に役立て役割を果たすために継続的に学習を行なうことが重要です。西播支部では、身近なテーマについて地域のリスクマネジャーと交流を図り、安全の質の向上に繋げるために、リスクマネジャー交流会を開催しています。

今回は、どこの施設でも起こりうる「転倒転落予防」について、3施設の取り組み内容の報告やグループワークを通してディスカッションを行ないました。

開催日時　：　11月8日（土曜日）13時～16時　　会場：姫路商工会議所6F

話題提供者　：　赤穂市民病院　副看護部長　橋口　茂代さん
姫路聖マリア病院　医療安全管理者　平野　ひとみさん
姫路赤十字病院　医療安全管理者　坂本　佳代子さん

参加者は熱心に、各施設での取り組み内容を聴かれていました

参加者は熱心に、各施設での取り組み内容を聞かれた後の意見交換も活発に行なわれ、自施設での活用についても検討されていました

1）受講後のアンケート内容

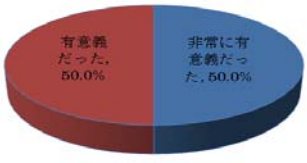
「交流会参加者の動機」

- 転倒について他病院ではどのような工夫をされているか。
- 当院でも転倒転落は永遠のテーマになっており他施設と情報交換を行い何かの糸口になればと思った。
- 他の施設内での状況や取り組みについて学び、参考にしたい。
- 他病院の転倒転落の問題点や悩み、対策を知りたい。
- 現場での問題点を少しでも解決できればと思った。

「アンケート結果」

- 参加者は12名でアンケート回収は12名（100%）でした。

【受講後の感想 】



- スタッフより適切なアドバイスを得る事があった。
- 転倒への対策や意識もろもろ、スタッフが共有できる方法等学べた。
- パートナーシップ（患者と家族を巻き込む事）が大切だと思っていたが実際に行動できていなかったので取り入れるにあたりヒントを頂いた。

2）交流会後の自施設での活用について

- 委員会と計画を練り具体的なグループを立ち上げたい。
- スタッフ（他職種含む）全員・患者・家族みんなで対策がとれ、フィードバックしていけるように取り組んでいきたい。
- 患者さんへの予防対策のパンフレットを（ラミネートして）ベッドサイドに置く。
- 転倒転落発生時の初期対応マニュアルの作成に活かしたい。
- スタッフ間で共有し対策をした上での転倒リスクを減らしていきたい。

次回のリスクマネジャー交流会案内

日　時：　平成２７年3月7日　（土）　　１３：３０～１６:３０

場　所：　姫路商工会議所　　３０名

テーマ：　「誤薬予防」

Ⅱ　医療安全週間の取り組み紹介

厚生労働省は、医療機関や医療関係団体等における取組みの推進を図り、また、これらの取組みについて、国民の理解や認識を深めていただくことを目的として、「医療安全推進週間」を設けています。当院でも、「ちょっと立ち止まって医療安全のさらなる推進」を目的に、１１月２０日～１１月２６日までの１週間を医療安全推進週間として、組織横断的に取り組みましたので紹介します。

1，リスクマネジメント部会で、「確認行動の徹底」をテーマに取り組みました。

名札にシールを貼りました

ポスターを作成し、映像で１週間表示しました。
また、確認行動と書いたシールを作成し、名札に貼り事務部門を初め全職員に配付し、職員一人ひとりの意識付けを行なうと共に患者さんや家族にもアピールできたました。

医療安全標語を各部署で作成し、唱和を実施しました

2，安全ラウンドを実施しました

他職種でチーム組んで、各部署をラウンドし、出来ているところや改善点を各部門知らせ注意喚起を行ないました。

監査項目：医療廃棄物の分別・病棟内の整理状況・薬剤管理状況などです。

病棟の廊下は整理整頓され、患者さんの歩行も安全です

他職種で自部署以外をラウンド実施しました

ラウンド終了後意見交換し改善点など討議しました

他職種でラウンドすることで、自部署では気づかなかったリスヤやリスク回避に工夫している点などをお互いに確認し情報共有することで、安全について考えることができました。

次回は、医療安全ラウンドマニュアルに沿った手順が遵守されているか等の確認をし、さらに組織で安全を確保し質の向上に努めていきたと考えています。

発行元：兵庫県看護協会西播支部　医療安全委員会
事務局：姫路聖マリア病院　医療安全管理室　平野ひとみ
電話：079-265-5350
FAX：079-265-5350
e-mail：m-s-p@himemaria.or.jp